

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652「京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs」
第5号案件への投資について

～特注建設部材のオンライン調達サービスを提供する「株式会社BALLAS」へ投資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2022年3月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド3号」は、第5号案件として、「株式会社BALLAS」へ投資いたしました。これにより「京銀未来ファンド1号」、「京銀未来ファンド2号」、「京銀未来ファンド3号」での投資先は、46社となりました。

「株式会社BALLAS」は、特注建設部材に特化したオンライン調達サービスを提供する企業です。特注建設部材は建設部材の中でも個別対応が多く、図面作成から納品までに細かい調整や幾つもの折衝を要します。同社のサービスは、このプロセスをオンライン上で簡便且つスピーディーに完結できることが大きな特長です。同社は「建設業を最適化し、人々を幸せに。」という使命を掲げ、建設業界のボトルネックである特注部品調達に関する課題を解決し、今後のさらなる成長が期待されます。

京都銀行グループでは、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	株式会社BALLAS
代表者	代表取締役 木村 将之
所在地	東京都中央区銀座一丁目22番11号 銀座大竹ビジデンス
設立	2022年1月
事業内容	建設特注部材の設計開発、製造販売

2. 投資額

30,000,000円

3. 投資について

本件投資により、「株式会社BALLAS」は、さらなる成長に向けた資本面の増強および、協力工場等のネットワーク増強を進めます。

4. 京銀未来ファンド3号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs 投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド3号)
投資対象	・ 当行の営業エリア内に本社を置く、独自性や新規性のある技術やビジネスモデルを有する企業 ・ 当行取引先企業のDX化やサステナビリティ経営に資する事業を行う日本国内の企業
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2022年3月31日
存続期間	10年（2022年3月～2031年12月）

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

